

只見川山峡下り・塔の竈・大内宿など会津 1 泊旅行記

秋の研修旅行は 1 年振りに、1 泊旅行を復活させ那須高原から会津路の旅を満喫してきました。11 月 3 日文化の日は、晴天に恵まれること約束されている絶対の晴れ日のこの日に的を絞って旅行日に決定しました、ここ 3 回の旅行が全て雨にたたられ晴天の日に旅行を楽しむのが悲願にさえなっていたからです。碑文谷公園を晴天の下 8 時に意気揚々と出発し、順調にスケジュールを消化していったのですが、なんと福島県に入り、Mt. ジーンズで天候悪化、「霧」に変わっていました。



全員初雪にびっくり寒い寒い



旅行の行程にはなかった「塔のへつい」に立ち寄りました



紅葉が真盛りの絶景が我々を待っていました。さっきの雪は何だったのでしょうか。秋と冬を 1 時間で体感しました。



1 度に 30 人以上のると危険と言われたつり橋を怖々渡りました。とても揺れて思わず欄干にしがみつきました。

皆さんかなり満足のご様子、寄り道をしてよかったです。この自由が貧乏道ツアーの醍醐味です。



1日目の最大の見どころ「大内宿」です



江戸の情緒を今に残す大内宿は会津西街道の宿場町で周りを山々に囲まれ独立した宿場町として発展し、本陣を始めとして旅館や問屋等が設けられていた。芦葺の屋根が残る古い町並みは、妻籠宿・奈良井宿と並び重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。名物ねぎ蕎麦は残念ながら、夕食時間に近く、食すことが出来なかった。

芦ノ牧温泉芦の牧グランドホテルにて



お楽しみの夕食は、ダイニング形式のテーブル・イスで約2時間の食事もしっかりと摂ることができました。今回の旅行の最大のメインイベントは、この夕食にありグランドホテルの売りも「味の宿」となっています。鮑の踊焼きを始めとして、松茸御飯まで12品を堪能した後には、生き生き体操の皆さんの指導で、東京音頭を始めとして輪踊りを楽しみました。



ご機嫌の会長を始めとして、皆さんかなりご満足の様子です。「おいしかったな〜」

翌日は只見川川下り 屋形船は女船長でした



尾瀬沼に源を發し南只見町田子倉から喜多方をへて阿賀川に合流する一級河川です。紅葉を約一時間楽しんだ船旅でした



船内は温室のようなポカポカ陽気、のんびりとした時が流れた

名札 柳津虚空蔵尊 参拝 紅葉が素晴らしい



会津武家屋敷前で全員集合「ハイ！チーズ」

最後は会津武家屋敷

天候に恵まれ、一人の病人も、ケガ人も無く1泊2日の秋の研修旅行も無事にもう少しで幕を閉じようをしています、今回は文化の日を含んだ日程の為か参加人数も過去最低でしたが、今回の中身は、過去最高の中身の濃いものでした。参加できなかった会員には申し訳なくお詫びいたします。

